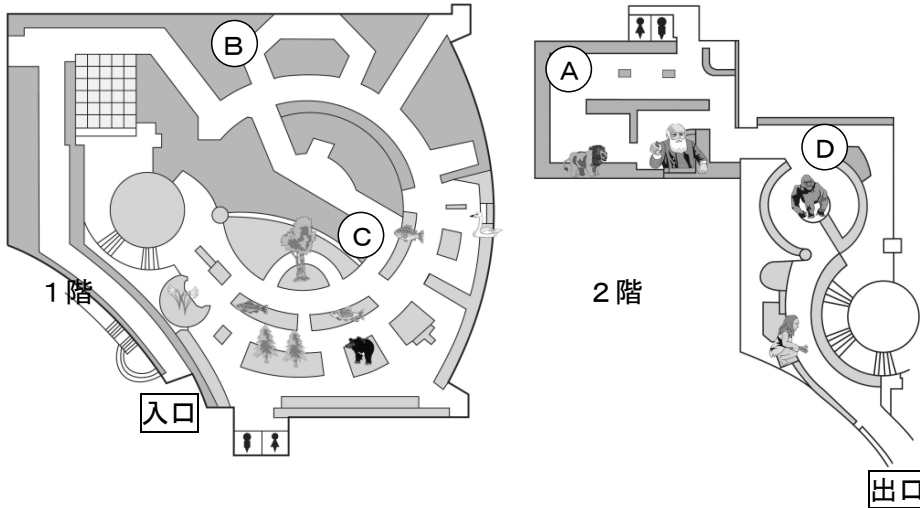


名前

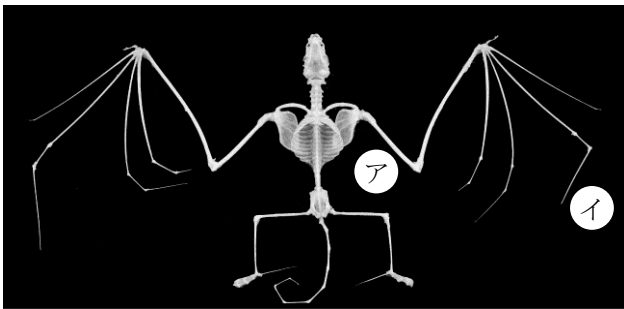


動物の骨格標本を観察すると、生活する環境かんきょうに適した構造をしていることがよくわかります。

左の図は博物館の地図です。展示室内の骨格標本①～④の展示を見て、地図の記号をたよりに、次の問題に取り組みましょう。

1 図の骨格を持つ動物の名前を書きなさい。また、セキツイ動物の何類に分類されますか。

※地図の①の場所を参考にしましょう。



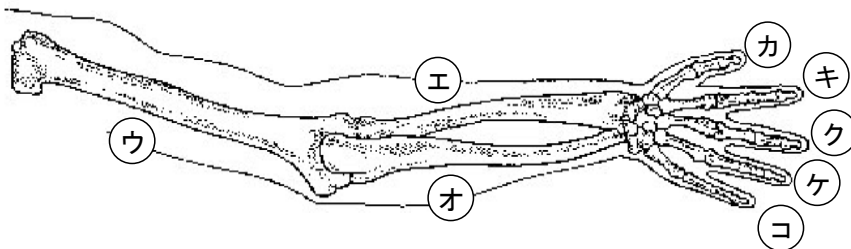
名前 (カタカナで記入)

○ ○ ○ ○

分類 (カタカナで記入)

○ ○ ○ ○ 類

2 図の骨格はヒトの左うでです。問い1の①と②にあたる部位の記号を図から選びましょう。



ア ⇒ ○

イ ⇒ ○

※ヒトでは  
じょうわんこつ  
上腕骨の  
部位です。

3 問い1と2を比べると、外形やそれぞれのはたらきは異なりますが、もともとは同じ構造ゆらいに由来した、同じような骨の基本的なつくりをもっています。このような器官を何といいますか。

○ ○ 器 官

4 次の動物の骨格を調べると、骨の基本的なつくりは同じですが、生活する環境に適した体形になっています。コビレゴンドウ（**Ⓐ**に展示）、ハト（**Ⓐ**に展示）、ムササビ（**Ⓐ**に展示）、モグラ（**Ⓐ**に展示）の中から一つを選んで、左右どちらかの前足にあたる部分をスケッチし、どのような環境に適した体形になったのかを書きなさい。

スケッチ（動物の名前： \_\_\_\_\_ ）

\_\_\_\_\_ の環境に適した体形。

5 地図内**Ⓒ**のシソチョウ（始祖鳥）のように、鳥類ではあるが、ハチュウ類である恐竜の特徴をもつ化石が発見されています。シソチョウの化石や生体復元模型をくわしく観察して、恐竜との共通点を書きましょう。



\_\_\_\_\_

6 地図内の**Ⓓ**に展示されているウマの足を調べると、生活する場所が変化するとともに環境に適した体形になったことがわかります。ヒラコテリウムとエクウスの足の骨格をスケッチして、どのような環境に適したのか書きましょう。

【時代】	【足のスケッチ】	【ウマの名前】	【どのような環境に適したか】
新しい時代		エクウス	_____ _____ _____ _____
古い時代		ヒラコテリウム	_____ _____ _____ _____

中学 【生物の進化】 解答

1 コウモリ

ホニュウ類

2 ア→ウ

イ→ク

3 相同器官

4 スケッチ：略

コビレゴンドウ：海を泳ぐ

ハト：羽ばたいて空を飛ぶ

ムササビ：グライダーのように木と木の間を飛ぶ

モグラ：土を掘<sup>ほ</sup>って地面にもぐる など

5 <sup>するど</sup>鋭い歯をもつ しっかりしたあごをもつ ツメのある3本の指をもつ 長い尾骨<sup>びこつ</sup>をもつ など

6 スケッチ：略

エクウス：森林で生活をするのに適した

ヒラコテリウム：草原で生活をするのに適した